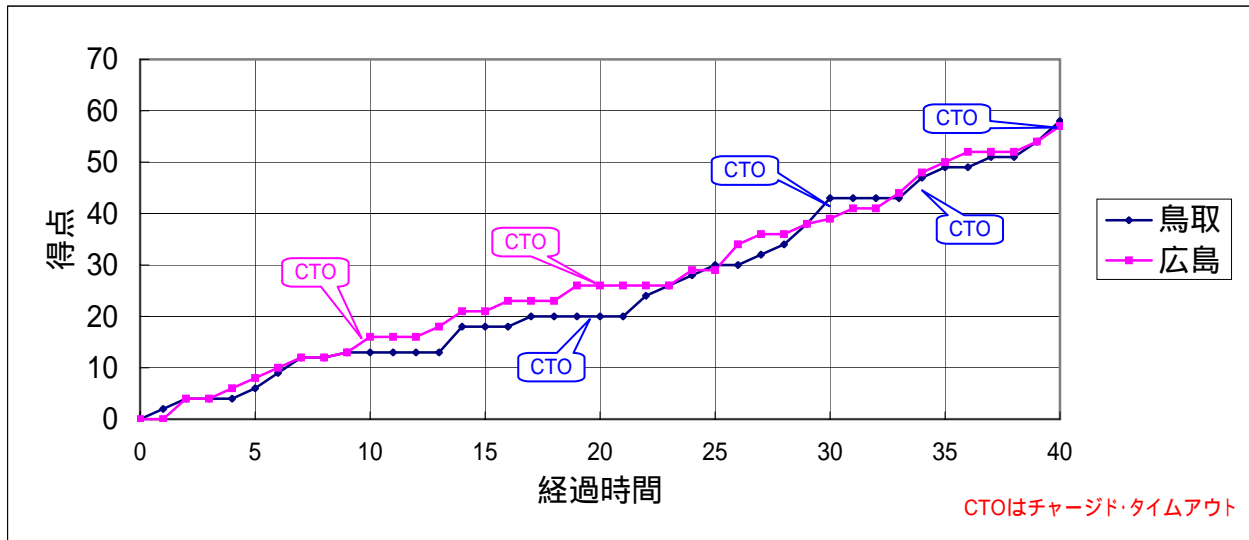


大会名	第58回 国民体育大会 中国ブロック大会	A - 2	10:35	成年女子 準決勝															
	(バスケットボール競技)	鳥取 58 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>13</td><td>-</td><td>16</td></tr><tr><td>7</td><td>-</td><td>10</td></tr><tr><td>23</td><td>-</td><td>13</td></tr><tr><td>15</td><td>-</td><td>18</td></tr><tr><td></td><td>-</td><td></td></tr></table> 57 広島			13	-	16	7	-	10	23	-	13	15	-	18		-	
	13	-	16																
7	-	10																	
23	-	13																	
15	-	18																	
	-																		
期日	2003年(平成15年)8月17日(日)																		
会場	やまぐちリフレッシュパーク(山口市)																		

主審 渡辺博史(山口) 副審 中原淳子(岡山)



鳥取

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F	R	As
4	秋鹿 幸恵	0	0	0	0	0	0	0
5	橋本 静香	17	0	8	1	1	2	4
6	井木 京子	9	0	3	3	3	6	1
7	福井麻衣子	2	0	1	0	3	8	0
8	井上 芙希	0	0	0	0	0	0	0
9	本田みゆき	3	1	0	0	0	3	1
10	田中 里佳	3	1	0	0	0	1	1
11	中沢 典子	0	0	0	0	0	0	0
12	小早川恵子	0	0	0	0	0	0	0
13	美谷真理子	13	0	6	1	4	13	0
14	森本 早織	7	1	2	0	2	2	2
15	長谷川亜矢	4	0	2	0	4	3	2
コーチ	板井 寛典							
合計		58	3	22	5		38	11

広島

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F	R	As
4	竹下世志子	6	0	2	2	0	3	3
5	古橋 裕子	4	0	2	0	1	0	0
6	安楽城千子	3	0	1	1	2	8	0
7	田丸 恭子	2	0	0	2	0	0	0
8	菅原 純	6	1	1	1	1	1	0
9	日吉くるみ	5	0	2	1	2	4	0
10	生駒 由美	4	0	2	0	2	5	0
11	森松 直美	9	1	1	4	1	13	3
12	森北 裕美	7	1	2	0	1	3	0
13	渡部多恵子	9	3	0	0	0	1	0
14	長谷川一美	0	0	0	0	1	6	0
15	石堀 里美	2	0	1	0	0	1	2
コーチ	矢野 博史							
合計		57	6	14	11		45	8

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

第1Q序盤、鳥取はミスが多く、広島がペースを握るかと思われたが、広島も外角のオープンショットがことごとくはずれペースに乗れない。鳥取はその間に、本田の3Pやフリースローで得点し、13-16広島の3点リードで第1Q終了。
 第2Qも両チームともミスが続ぎ、開始2分間ノーゴール。重い雰囲気が漂う。広島の安楽のジャンプショット、すぐさま鳥取 長谷川の1対1からのドライブで入れかえし、ゲームが動き出したかに思われた。しかし、広島は第1Q同様外角のオープンショットがことごとくはずれ、得点が伸びない。鳥取もパスミスやイージーシュートが入らず、両チームとも波に乗れないまま前半終了。20-26広島6点リードで後半を迎える。
 第3Q鳥取は 橋本を投入し、大当たり。ドライブインやジャンプショットで得点を重ね、ついに残6分28-26と逆転に成功する。その後は、広島も 森松のふんばりで、シーソーゲームとなる。広島は同点に追いつかれて、ゾーンDEFに切り換え、広島 菅原の3Pと 森松のフリースローで、30-36とリードを広げるが、鳥取 美谷のジャンプショットや 森本の3Pなどで43-39と再逆転し、第3Q終了。
 第4Qに入り、お互い一步も譲らない、すばらしいゲームとなった。広島はマンツーマンDEFに戻し、 森北の3Pなどで波に乗りかけたが、その 森北が残2分51-52のときに怪我でリタイア。広島 森松がゴール下を決め、51-54とリードを広げるが、残1分、鳥取 橋本がドライブイン、これがバスケットカウントとなり、フリースローも沈め、54-54と同点に追いつく。残40秒で広島 森松が3Pを決め、54-57と突き放すが、鳥取 美谷がゴール下を沈め56-57と1点差となる。その折り返しで広島痛いパスミス、残28秒鳥取ボールで鳥取タイムアウト。タイムアウト後、残8秒で鳥取 美谷がドライブインを決め、58-57と逆転する。広島は最後のチャンス、ゴール下ノーマーク 長谷川にパスが通るが、このシュートがはずれ、広島は執念のリバウンドを拾うもシュートはことごとくリングに嫌われ、タイムアップ。
 58-57で鳥取が決勝へ駒を進めた。

記載者 林 哲郎 (所属) 山口県バスケットボール協会